

2020年9月30日

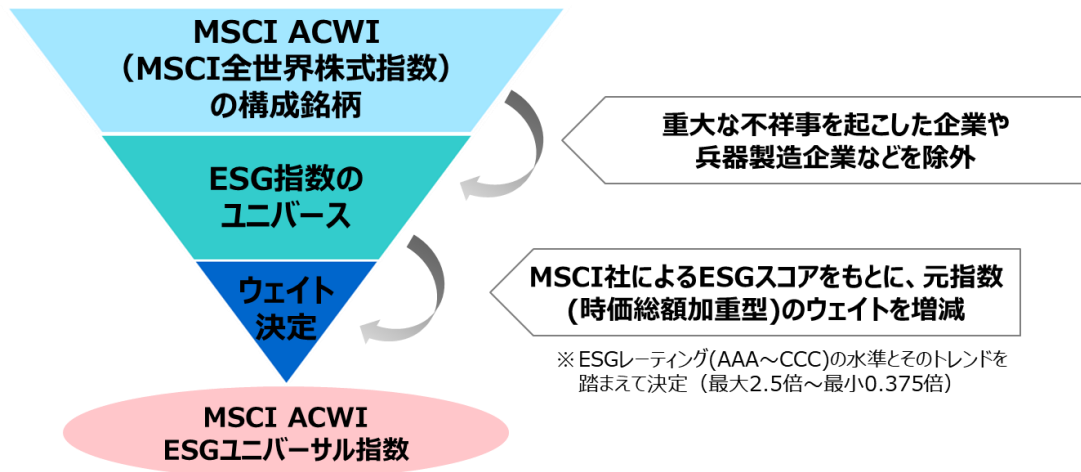
外国株式運用の運用目標(ベンチマーク)におけるESG指数の採用

～運用収益獲得と社会課題解決を両立するポートフォリオ構築に向けたESG運用の拡大～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、ESG 投資の更なる高度化に向けた取組みの一環として、外国株式インハウス運用¹の運用目標(ベンチマーク)に ESG 指数を採用することを決定しました。

当社は、日本全国の約 1,000 万名のお客さまからお預かりした約 36 兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、持続可能な社会の実現に向けた ESG 投資の取組を推進しています。2020 年4月には「第一生命の ESG 投資の基本方針」²を策定し、全資産の運用方針・運用プロセスに ESG 要素を組み込むことを目標のひとつに掲げ、取り組んでいます。

今般採用する ESG 指数は、資産運用の意思決定ツール・サービスを提供する世界的なリーディングプロバイダーの MSCI 社が提供する「MSCI ACWI ESG ユニバーサル指数」をベースとした指数です。同指数は、ユニバーサル・オーナーとして幅広い銘柄への分散投資を維持しながら、ESG を考慮した投資の割合を高めようとする投資家向けの指数であり、元指数である時価総額加重型の「MSCI ACWI(全世界株式指数)」の構成銘柄を基本としつつ、ESG 評価が高い企業ほど組入比率が高くなることが特徴です(元指数対比で最大 2.5 倍)。



当社は 2019 年より、ESG スコアを用いてポートフォリオを構築する運用手法を外国株式運用の一部資金において導入しておりました³が、今般の ESG 指数の採用により ESG 運用を行う対象金額を大幅に拡大させ、時価ベースで約 4,000 億円相当となる外国株式インハウス運用全体で ESG を考慮した運用を行います。

今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

¹ 資産運用を外部の機関に委託せずに自ら運用を行うこと。

² 『「第一生命の ESG 投資の基本方針」の策定について』(https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_009.pdf)

³ 『株式運用における ESG 投資の高度化』(https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019_021.pdf)